

# あしや 市議会 だより

2019年2月  
No.107



## 中学校部活紹介

### 精道中学校男子ソフトテニス部

部員総数32名で、「誰からも応援されるチーム」を目指して、日々の練習に励んでいます。  
最近の成績は、市内大会では団体戦・個人戦で優勝、阪神大会では団体戦で準優勝するなど、  
努力が結果に結びつきつつあります。現在は3月に行われる春季大会での優勝を目指して頑張っています。



- 注目の議案をPick up
- 一般質問
- 議会報告会

芦屋市議会は、市民の皆さまにより分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指しています。  
ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

# 注目の議案

平成30年度  
第5回定例会  
11月26日～  
12月21日  
26日間

今定例会では全部で20件(市長提出議案…15件、議員提出議案…2件、請願…3件)の議案等が審議されました。  
今号では、この中から3つの議案等をピックアップして紹介します。

## Pick 1

### 総合公園の指定管理業務

平成30年度芦屋市一般会計補正予算(第4号)(第93号議案)  
総合公園ほか2件の指定管理業務や図書館窓口等の運営業務に係る債務負担行為の追加など

### 図書館窓口等の運営業務

指定管理者からのドックランの提案については、近隣住民の理解を得ながら進めるよう求める。  
市内在住者の雇用を促し、積極的に地元の業者を使うよう、指定管理者に働きかけてほしい。

※債務負担行為とは、1つの事業や事務が単年度で終了せず、後の年度においてもその費用を支出しなければならない場合に、あらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決めておくこと。

**可決**  
(賛成多数)

Q 休館中はどうに対応しているのか。  
A 現在は市役所北館1階に仮設窓口を設置し、図書館サービスの一部を行っている。

### 【反対討論】

●図書館の窓口等運営業務は、利用者のプライバシーや思想信条の自由を守らなければならないという点で、委託にはなじまないと考ええる。

### 【賛成討論】

●既に図書館の窓口等業務の一部を委託しているが、過去に利用者のプライバシーなどが守れなかった例はないのではないか。また、直営で運営すれば、それだけ人件費が高つく。今後、開館時間が延長されることで、市民サービスの向上にもつながると考えるため賛成する。



大規模改修工事中の図書館本館(平成31年4月2日まで休館しています)

### 質疑

●指定管理者選定時の採点結果に対する市の見解は、A 基準は満たしているが高得点とはいえない。今後、指定管理者とともに5年間しっかりと取り組んでいく。

### 質疑

●潮音屋ビーチの管理などに関して、地元住民と協議してきた内容どおりの管理がなされているのか。  
A なかなか決めたとおりの管理ができていないため、今後どのような工夫ができるのか、地元自治会・指定管理者・市と協議していく。

### 【意見・要望など】

●指定管理者が設置しようとしているコンビニに、地域住民からの要望が多いゆうちょ銀行対応のATMを設置するよう、強く働きかけてほしい。

### 質疑

●業務委託の考え方は？  
A 利用者のニーズに柔軟に対応するために、開館時間の延長や開館曜日の拡大を視野に入れたものである。



Q 利用者のプライバシーや思想信条をどのように守っていくのか。  
A 委託業者に対し、「図書館員は利用者の知る権利、秘密を守ることが責務である」ということを仕様書に基づき説明していく。

## Pick up 2

### 廃棄物運搬用パイプラインの運用期間を定める条例を制定

**可決**  
(全員一致)

【内容】 廃棄物運搬用パイプライン施設の運用期間を定めるための条例で、芦屋浜区域は平成51年3月31日まで、南芦屋浜区域は平成63年3月31日までを限度とするもの。

Q パイプラインという一つの柱があってもまちづくりをしてきたという経緯を考えると、今後も行政は利用者の方と十分に話し合いを持ちながら進めていく必要があるか。  
A これまでの経過を踏まえて、今後の検証についても十分に意を用いていく。検証結果については、その時々的情勢に合わせて報告を行い、その前段として利用者の方を中心とする住民の同意を目指した話し合いができるよう準備を整えていく。

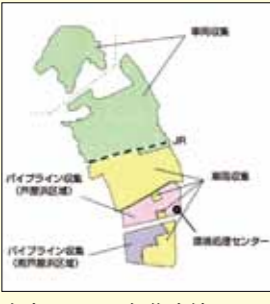
### 質疑

●示された運用期間中に、さまざまな維持管理上の問題が発生することが予想されるが、パイプライン施設の存続が困難となった場合の市の考え方は？

A 条例で定めた運用期間までに、大規模改修等が必要な事態が生じた場合には、条例制定と同程度の重要な事案として、誠意を持って対応する。

Q パイプラインは当時、誰しもが憧れるような良好な住宅地を形成するという目的で導入されたが、認識しているが、今になって経費が高つくという理由で廃止にするのは納得がいかない。

A パイプラインが果たしてきた役割は非常に大きいと認識しているが、今後に向けた課題の解決策や対応を検討すること、果たしてきた役割を評価することは、別に考えるべきである。今回の提案は利用者の方も交えて、ともに課題を共有して検討した結果である。



市内における収集方法

### 【意見・要望など】

●今後、長期間運用する中で、社会情勢の変化やパイプライン施設自体のさまざまな状況の変化が見込まれることから、少なくとも年に1回は具体的な検討の自身を議会にも報告してほしい。  
●自然災害の有無に関わらず、設備そのものの抱える課題が大きいため、従来からの保全計画にも増してより細やかな、毎年度のしっかりとした検証をお願いする。

## Pick up 3

### 消費税10%への増税中止を求める意見書採択を求める請願書

**不採択**  
(賛成少数)

【内容】 左記のAは請願の紹介議員が答弁した内容です。  
Q 増税をしなかった場合の財源をどのように捻出するのか。  
A 下がってきている法人税や所得税の最高税率を元に戻すだけでも大きな財源になる。

Q 所得税や法人税の引き上げは、一般的に労働者の勤労意欲や企業の投資意欲を損ねると言われているが、その点をどう考えるのか。  
A 日本経済の約6割は家計消費であるため、そこが冷え込んだままでは、たとえ企業が投資をしたとしても消費には回らない。企業の内部留保を活用し、賃金を引き上げることで、消費を加速していくことが一番の打開策になるのではないか。

【意見・要望など】  
●内部留保の取り崩しは企業の投資意欲、ひいては世界における日本企業の競争力を失わせてしまうことにつながりかねない。

【賛成討論】  
●国民の暮らしはますます厳しいものになっており、政府の調査でも半数以上の方が10%への増税に反対している。今後も社会保障関係経費の削減が進められようとしている中で、消費税が本当に

その財源のために使われるのか甚だ疑問である。国民の願いに込めるのであれば、消費税10%への増税を中止することが一番の対策だと考える。

【反対討論】  
●少子高齢社会を迎えている日本において、この先の税収は伸びないことが予想される。今後社会保障関係経費が大幅に伸びていく中で、多くのツケを後の世代に回さないためにも、消費税を10%にすることはやむを得ないと考ええる。

●社会保障財源の安定化や財政再建を図っていく上で、消費税の増税はやむを得ないと考える。また、軽減税率の導入に向けた準備も進められているため、この流れに沿ってしっかりと準備を進めるべきである。



請願・陳情パンフレット(市の施策に対する意見や要望を文書で直接、市議会に提出することができます)

※全ての議案等の内容と審議結果は9ページの「審議結果一覧」をご覧ください。

# 一般質問

12月11日～13日の3日間に16人の議員が、  
計48項目の一般質問を行いました。  
内容の一部を紹介します。

詳細は市議会ホームページをご覧ください。



松本 義昭 あしや真政会

## インフルエンザ・風疹の予防と助成を求める

**議員** 本市でのインフルエンザ対策を求めるとともに、公費助成の拡大を求めるが市の考えを問う。  
**市** 各インフルエンザ対策については、60～64歳までの障がいのある方と65歳以上の方に予防接種を年一回15000円の自己負担で受けられるよう助成を行っている。おり、広報あしや等を通じて予防接種の勧奨に努めている。



猛威を振るインフルエンザ対策を



寺前 尊文 日本維新の会

## 台風時の停電発生原因と電線地中化の因果関係はあるのか

**議員** 台風21号上陸時に大規模な停電が発生した原因と長期化した理由は何？  
**市** 電力会社から、大規模停電の主な原因は広範囲にわたる幹線の断線等であり、長期間に及んだ要因はシステムで把握できない設備等の故障であるとの報告を受けている。  
**議員** 電線類の地中化で停電時間が長引いたのではないかと懸念する声もあるが、検証はできているのか。  
**市** 電力会社が浸水した地上機器を洗浄し、安全性を確認した上で通電を開始したことに加え、機器が浸水した家庭には、在宅時の作業が必要であったため、復旧時間間に差が生じたものと報告を受けている。



芦屋浜・南芦屋浜では停電が長時間に及んだ



中島 かおり 無所属

## JR芦屋駅南地区の再開発とまちづくりについて

**議員** JR芦屋駅南地区の再開発事業の早期実現は重要な課題と認識しているが、既に開発が完成し、相当な期間が経過するJR芦屋駅北地区は、経年的な老朽化も進み、見直しが必要な時期を迎えている。将来に向けた長期的な芦屋市のまちづくりのビジョンから、JR芦屋地区全体を統一的に検討する必要があると思うが、市の見解を問う。  
**市** 現在の計画は、平成23年度に実施した周辺の土地利用や交通量調査の結果に基づき、駅前の交通課題の解決等に必要事業区域の設定や施設配置などにより、本地区の新たなブランド化を進めるための適正な事業規模としたものである。JR芦屋駅を中心とする地区は、都市計画マスタープランにおいて、地域の「中心核」として位置付けており、駅南北を一体的にとらえ、相互の連携と交通結節機能の強化を図るものとした。JR芦屋駅南地区まちづくり基本計画を基本に統一した検討を進めてきたところである。



JR芦屋駅北地区と一体的な整備が求められるJR芦屋駅南地区

## その他の質問

- 文化行政について
- ごみ行政について
- 防災とまちづくりについて
- 手話通訳の充実について

ひろせ 久美子 日本共産党

## 死亡の際の手続きをワンストップ制で

**議員** 自分の家族が亡くなったときに遺族は、各種の手続きをするために、疲弊しながら市役所内の窓口を回らなければならない。負担軽減や市民サービスの向上のために、遺族が窓口を回るのではなく、各窓口担当職員が入れ替わることでワンストップ制の導入を求めるがどうか。  
**市** 75歳以上の方の死亡に伴う手続は3課5種類であるが、窓口を効率的に配置し、一覧表でわかりやすく案内するとともに、状況により担当職員が出向くなど臨機応変に対応しているところである。今後、新たな体制の構築までは考えていないが、サービスの電子化に向けた国の動向や他市の取り組み状況を注視していく。



大原 裕貴 日本維新の会

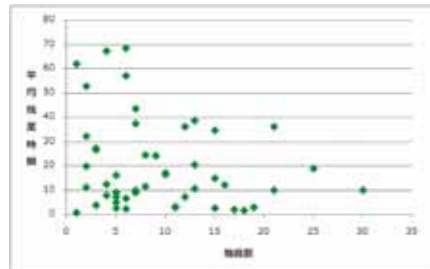
## 作業単位のコスト算出について

**議員** 各職員の稼働時間を作業単位で算出し、作業別のコスト算出はできないか。今後の財政状況や職員の超過勤務の実態を踏まえると、今よりも効率的な行政運営が必要となる。今後、高レベルの行政サービスを維持していくためには正確なコスト算出が必要と考えるが、市の見解を問う。  
**市** 職員の作業単位の所要時間およびコストを全庁的に把握することは、経費や作業負担の面から時間を要すると考えているが、新たな業務委託やシステム導入検討時には、費用対効果の検証のため、順次実施しているところである。ICT活用などの手法については、人事給与システムの更新を契機に官民の事例等を参考に研究していく。



- 健康ポイント制度の導入について
- AIやRPAの導入による負担軽減について
- その他の質問

市長部局の一般職員の平均残業時間  
(平成29年度決算より)



民間における法定労働時間を超える平均残業時間も散見される。

山田 みち子 あしや真政会

## 高座川に新設予定の砂防ダムの周辺問題について

**議員** 高齢者の利用が多い高座の滝登山道の安全確保について市の考えを問う。  
**市** 砂防堰堤建設工事に伴うハイキング道の確保については、工事施工者に現在の環境の維持と併せて、安全性の確保についても求めていく。  
**議員** 六甲砂防事務所が新設予定の砂防堰堤の型式は12月13日時点ではコンクリートダムであったが、予定地には室町期の埋蔵文化財があるため、鋼製ダムへの変更を求める。  
**市** 建設予定の堰堤は、鋼製スリット型と聞いている。



芦屋川上流に設置されている透過型の砂防ダム「鷹尾第二堰堤」



**議員** 国・県市の連携に市民団体が関われるようにできないのか。

**市** 市民団体が砂防事業につながりが持てるよう、国・県と連携し、提供できる情報の収集に努めていく。

## その他の質問

- 環境政策について
- 環境に配慮した水道経営について



12月議会の所管事務調査で示されたJR芦屋駅南地区再開発事業の模型

公立幼稚園での3年保育の実施を



議員 3年保育をやらな... 公立幼稚園での3年保育の実施を



公立幼稚園での3年保育の実施を

早急に保育士を確保せよ

議員 保育士を確保するために復職・就職... 早急に保育士を確保せよ

- その他の質問
● 台風21号の高潮・高波被害とその他の自然災害の対応策について
● 市政運営についての問題点について
● 芦屋市の福祉がさらに前進されるために

教育の一層の質向上を目指し 教員の負担軽減を！



議員 職務の拡大による... 教育の一層の質向上を目指し 教員の負担軽減を！



登校中の児童の様子

津波の遡上対策について



議員 江尻川河口部西側... 津波の遡上対策について



防潮堤の途切れた箇所(江尻川河口部西側)

- その他の質問
● 新生児の聴覚検査について
● 介護現場の補助策について
● 街路樹の管理について
● 保育について
● 南芦屋浜からの通学について

子育てを支える医療保険制度について



議員 国民健康保険に加入... 子育てを支える医療保険制度について



国民健康保険のお知らせ

- その他の質問
● 台風21号による災害対策と今後の課題について

南芦屋浜護岸ベランダの釣り人について



議員 南芦屋浜護岸は台風... 南芦屋浜護岸ベランダの釣り人について



現在、立入が禁止されている南芦屋浜護岸

- その他の質問
● 災害時の備えについて
● 空き家対策について

公園にあるベンチや時計の寄贈者募集について



議員 市内にある公園に... 公園にあるベンチや時計の寄贈者募集について



災害時の情報発信について

議員 自動応答電話\*1のさらなる周知と... 災害時の情報発信について

- その他の質問
● ひきこもりや不登校について

市はまちづくりの先導役を果たせ



議員 市営住宅等の集約... 市はまちづくりの先導役を果たせ



跡地が共同住宅として活用される予定の南宮町市営住宅

- その他の質問
● 台風被害対策について
● 阪神電気鉄道の立体交差化について

持続可能な行政運営を可能とする人員体制について



議員 労働力の減少や... 持続可能な行政運営を可能とする人員体制について



芦屋市役所

これからの環境問題について

議員 世界的に海洋プラスチックごみが... 環境問題について

- その他の質問
● JR芦屋駅南地区のまちづくりについて

## ◆審議結果一覧

議案番号	件名	結果	内容
<b>条例の制定</b>			
86	廃棄物運搬用バイパス施設の運用期間を定める条例	可決	廃棄物運搬用バイパス施設の運用期間を定めるもの。 2・3ページ「注目の議案」をご覧ください。
<b>条例の一部改正</b>			
87	市営住宅の設置及び管理に関する条例	可決	南宮町、浜町、西蔵町、翠ヶ丘町および朝日ヶ丘町の市営住宅について、大規模集約事業に伴い、その用途を廃止するもの
88	地区集会所の設置及び管理に関する条例	可決	茶屋集会所の貸室である和室を洋室に改修したことに伴い、施設使用料等を改めるもの
89	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例の一部を改正する条例	可決	市立幼保連携型認定こども園の1号認定(幼稚園部)の降園時間の変更に伴い、預かり保育に係る規定を改めるもの
90	都市公園条例	可決	涼風町に公園を新たに設けるほか、海浜公園の温水プールや芦屋公園の会議室の供用日時等を改めるもの
91	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例	可決	月若町地区及び大原町地区の地区計画の変更に伴い、区域内の建築物の制限を追加するもの
92	消防団条例	可決	消防団の活動環境を整備することを目的として、団員としての身分を有したまま一定期間活動を休止できる制度を設けるもの
99	一般職の職員の給与に関する条例	可決	人事院勧告等を参考に、一般職の職員の給料月額並びに期末手当および勤勉手当に係る支給率を改定するもの
100	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等	可決	一般職の職員に準じ、特別職の期末手当に係る支給率を改定するもの
<b>平成30年度補正予算</b>			
93	一般会計(第4号)	可決	職員給与費等の見直し、県補助金の活用に伴う事業費の移しかえ、国庫補助金の活用に伴う民生費の追加および都市再開発事業特別会計への繰出金の追加を行うもの。2・3ページ「注目の議案」をご覧ください。
94	都市再開発事業特別会計(第1号)	可決	平成30年4月1日以降の職員配置の現況等を勘案して、職員給与費等を追加するもの
<b>指定管理者の指定(指定期間は平成31年4月1日から平成36年3月31日まで(5年間))</b>			
95	地区集会所	可決	「地区集会所運営協議会連合会」を地区集会所の指定管理者に指定するもの
96	総合公園	可決	「ミズノ・芦屋市体育協会・理研グリーン共同体」を総合公園の指定管理者に指定するもの。 2・3ページ「注目の議案」をご覧ください。
97	体育館・青少年センター並びに川西運動場、東浜公園、西浜公園及び芦屋中央公園有料公園施設	可決	「S&Nスポーツマネジメント芦屋」を体育館・青少年センター並びに川西運動場、東浜公園、西浜公園および芦屋中央公園有料公園施設の指定管理者に指定するもの
98	海浜公園有料公園施設及び朝日ヶ丘公園有料公園施設	可決	「セントラルスポーツ株式会社」を海浜公園有料公園施設および朝日ヶ丘公園有料公園施設の指定管理者に指定するもの
<b>議員提出議案</b>			
28	防災・減災に資するインフラ整備促進のための財源確保等具体的な対策を求める意見書	可決	8ページ「可決した意見書」をご覧ください。
29	子どもたちの幸せのための幼児教育無償化を求める意見書	可決	8ページ「可決した意見書」をご覧ください。
<b>請願</b>			
17	“若い人も高齢者も安心できる”年金制度を求める請願	不採択	全額国庫負担による最低保障年金制度の早急な実現を求めるもの
18	消費税10%への増税中止を求める意見書採択の請願書	不採択	消費税10%への増税中止を求めるもの。 2・3ページ「注目の議案」をご覧ください。
19	インボイス制度の導入中止を求める意見書を国に提出することを求める請願書	不採択	インボイス制度(適格請求書等保存方式)導入の中止を求めるもの

※ 〇は「賛否の分かれた議案」を表しています。

## ◆賛否の分かれた議案

本市議会では、賛否の分かれた議案に対する議員個人の賛否を「あしや市議会だより」と市議会ホームページで公開しています。今回賛否の分かれた議案等の採決の結果は次のとおりです。

議案番号	あしや真政会						公明党				日本共産党 芦屋市議会議員団				日本維新の会 芦屋市議会議員団				会派に属さない議員				議決結果			
	議員名	岩岡りょうすけ	福井利道	長野良三	福井美奈子	山田みち子	重村啓二郎	松木義昭	徳田直彦	帰山和也	田原俊彦	ひろせ久美子	森しずか	平野貞雄	寺前尊文	大原裕貴	いとうまい	長谷基弘	前田辰一	中島かおり	中島健一	結	賛	反	棄	
第93号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	—	可決	15	4	0	
第97号議案	○	○	○	○	○	棄	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	—	可決	14	4	1	
第98号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	—	可決	15	4	0	
第99号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	—	可決	17	2	0	
第100号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	—	可決	13	6	0	
請願第17号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	—	不採択	5	14	0	
請願第18号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	—	不採択	4	15	0	
請願第19号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	—	不採択	5	14	0	

※「○」…賛成、「×」…反対、「欠」…欠席、「棄」…棄権、「除」…除斥、「-」…議長(議長は表決に参加しません。)

### あしやキッズスウェアと留守家庭児童会のさらなる連携・拡大を



議員 学童保育の小学6年生までの拡大および一部民営化に併せ、児童が午後5時までキッズスウェアで過ごした後、学童保育に参加できるようにすべきと考えるが、どうか。

教委 あしやキッズスウェア後の学童保育への参加については、関係者との協議を含め検討していく。

議員 キッズスウェアへのお弁当の持参については、全校で認めるなど、基本的な足並みを揃え、コーディネーターを中心としたよりよい施策となるよう進めてほしい。

教委 キッズスウェアでのお弁当については、保護者からの要望もあることから、今後も引き続き、各小学校の運営会議で協議していく。

コーディネーターについては、昨年度までにキッズスウェアが全小学校で開設に至ったことから、今年度の夏から配置をし、全庁的な視点で運営プログラムや学校内での調整を図っている。今後もキッズスウェア事業の魅力を高め、充実した放課後を児童に提供していく。



### その他の質問

●「子ども迎賓館を芦屋の迎賓館に」

## 議員研修会 人と防災未来センターの視察を行いました

10月30日に、人と防災未来センター(神戸市中央区)で、奥村先生(関西大学社会安全学部准教授)のお話を聴き、センター内を視察しました。

初めに、人と防災未来センターの池田副センター長から施設の概要と取り組みについてご説明をいただいた後、奥村先生から9月の台風第21号による被害とそこから見えてきた課題のほか、6月に発生した大阪府北部地震によるブロック塀倒壊についてもお話をいただきました。

先生のお話の後、センターの3D映像「東日本大震災ドキュメンタリー」の視聴や、今年8月に新設された「津波避難体験装置」を体験しました。

今回、さまざまな自然災害について学ぶ中で、自然災害に備えるために行うべきことがまだまだあるということを感じました。



## ◆可決した意見書

今定例会で可決した意見書につきましては、地方自治法第99条の規定により、芦屋市議会からそれぞれの提出先に提出しています。

### 防災・減災に資するインフラ整備促進のための財源確保等具体的な対策を求める意見書

【提出先】 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣(防災)

【内容】 国においては、防災・減災対策をより一層強力に推進するため、下記の事項に取り組まれるよう強く要望する。

1. 平成30年7月豪雨、台風第21号など、激甚化・多発化する災害を踏まえ、防災事業を計画的に実施していくため、治水対策、高潮対策、土砂災害対策、道路防災対策等に必要な予算措置を講ずること。
2. 南海トラフ地震の発生確率が高まる中、地震・津波対策を短期間に集中して実施できるよう、必要な予算措置を講ずること。
3. 災害時の機能保全、安全性確保の観点からも、社会基盤施設の老朽化対策や適正な維持管理に必要な予算措置を講ずること。
4. 発災後の救援支援活動への支障や社会経済活動の機能不全などを回避するために必要となる交通・運輸基盤の整備を促進すること。

### 子どもたちの幸せのための幼児教育無償化を求める意見書

【提出先】 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣(少子化対策)

【内容】 就学前の幼児教育・保育の重要性は言うに及ばず、本格的な少子高齢社会を迎え、子育て支援の拡充は喫緊の課題である。その意味で、国が進める幼児教育の無償化は最重要課題であると認識している。

その上で、本施策を進めるにあたっては、子どもたちの就学前の教育・保育のさらなる充実など地方自治体の独自の裁量を狭めたり、地方に恒常的な負担を押し付けたりすることのないよう、下記事項について強く要望する。

1. 幼児教育・保育の無償化は、地方消費税の増収分を充てることなく国の責任において全額を国費で確保すること。また、当該事業の拡大に伴う人件費やシステム改修費などについても財政措置を講ずること。
2. 無償化に伴う保育需要の拡大等に対応するための人材の育成・確保・施設の整備に対しても財政措置など必要な支援策を講ずること。
3. 無償化の施行に際しては、子どもたちの教育・保育環境の安全確保、質の担保・向上の仕組みを構築すること。

※意見書の詳細な内容につきましては、市議会ホームページ「議員提出議案の審議結果」をご覧ください。

## 新議長の紹介

第5回定例会初日(11月26日)に議長選挙を行い、議長に中島健一(なかしま けんいち)議員を選出しました。任期は前議長の残任期間(平成31年6月10日まで)となります。

# 議員活動をレポート

## 行政視察の報告

芦屋市議会では、他の自治体で取り組まれている先進事例を調査・研究するため、委員会による行政視察を実施しています。本年から市議会ホームページに視察報告書を掲載しておりますので、詳細はそちらをご覧ください。

10月18日と19日

### 議会運営委員会

#### 山口県山陽小野田市と防府市を視察しました

議会改革度ランキングで上位に位置している2市の議会運営に関する取り組みについて学びました。

山陽小野田市では、「議会報告会」について、市民に分かりやすく親しみやすいテーマを設定し、カフェにいたるようなリラックスした雰囲気できつぱらんな意見交換を行うことで多くの市民の参加を得られていること。防府市では、市民要望として出てきた項目を一般質問や各常任委員会の中で取り上げ、フォローしていることは特筆すべきことで、本市の議会運営においても大変参考にすべきであると感じました。

また、「議会モニター制度」についても2市の運営方法や課題を教えてくださいました。今後もさらなる広聴機能の充実、政策立案機能の強化を目指していきます。



山口県防府市

10月23日と24日

### 総務常任委員会

#### 東京都町田市と渋谷区を視察しました

町田市では、「自治体間ベンチマーキング」について学びました。本事業は、自治体間で業務プロセス・パフォーマンス・コスト等を比較し、差異を見える化するとともに、自治体間で共通化できる最善の方法を検討し、業務改善につなげる取り組みのことですが、自治体間での比較により、コスト削減や職員の意識改革等につながるといった効果も期待できるため、本市においても、まずは作業量を定量的に計測する取り組みを進める必要があると感じました。

渋谷区では、「AIの活用」ということで、LINEで問い合わせた内容に対し、AIが自動で応答する仕組みについて説明を受けました。職員の時間外勤務の抑制も期待でき、また、効率的な行政運営を進めていく上でも必要な観点であるため、今後、研究する価値が大いにありと実感しました。



東京都町田市

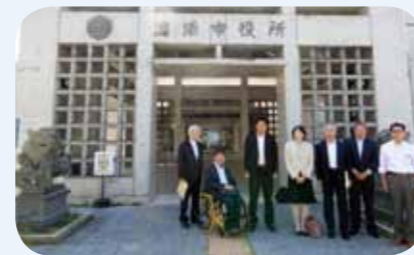
10月25日と26日

### 民生文教常任委員会

#### 沖縄県那覇市と浦添市を視察しました

那覇市の「放課後児童クラブ（以下、「学童」という。）」は、86の全学童が民間の運営ですが、これは米軍統治下にあった影響で児童福祉法の適用が遅れたため、その間学童を必要とする保護者等が同事業を運営してきたという経緯があります。本市同様、待機児童の課題もありますが、保護者が運営することによる負担と引き換えに、行政が間に入らないことで、利用する側と現場との関係が円滑に構築されていると感じました。

浦添市では、「学童／放課後子ども教室」について学びました。「放課後子ども教室」における学童との連携や、自治会等による教室運営について、潜在的に存在する昔からの地域子どもへの関わりを活かした事業展開がなされており、大変勉強になりました。



沖縄県浦添市

# 議会報告会を開催しました

市民の皆さまに議会の仕組みや活動をより知っていただくために、11月15日・16日・23日に市内2会場（市役所本庁舎・保健福祉センター）で民生文教常任委員会班・建設公営企業常任委員会班・総務常任委員会班の3班に分かれて議会報告会を開催しました。報告会では、福井美奈子副議長のあいさつのあと、平成29年度決算審査について報告を行い、今年も班ごとに異なるテーマで市民の皆さまとの意見交換会を実施しました。

意見交換会にご参加いただいた市民の皆さまからのご意見等を紹介します。

※詳しい内容については、市議会ホームページをご覧ください。

## ごみ処理について【民生文教常任委員会班】

※グループ方式による意見交換会

### ごみの減量とごみマナーについて

- ごみの減量化については、市民の意識改革が必要であるとともに、学校教育も重要である。
- 以前に比べてごみが少なくなったと感じる。早朝にごみを回収しているボランティアの方もおられ、市民意識に支えられてきれいになっているが、一方でマナーを守っていない方も見受けられる。
- ごみ収集を有料化してはどうか。
- 落葉時には自発的に収集しているが、体力的に無理になれば市にお願いすることになる。

### パイプライン施設について

- 改修の必要性の認識があれば積み立てが必要であったのではないかと。

- 市にはパイプライン利用者への説明責任があるため、丁寧に進めてほしい。
- 各家庭の減量化の取り組みも必要である。

### カラスのごみ被害対策について

- カラス対策により被害が出ていない地域もあるため、そういった地域と情報交換を行い、全体的な取り組みとすべきである。
- カラスネットなど、利用者の努力で被害が減っている地域もある。



## 無電柱化の取り組みについて【建設公営企業常任委員会班】

※対面方式による意見交換会

### 【参加者からの質問】

芦屋市は無電柱化をどの方式でやるつもりなのか。阪神・淡路大震災において、電気が先に復旧し、ガスが最後に復旧していたので、地中化には不安が残る。先の台風第21号でも地中化している南芦屋浜地域では、長時間停電していた。

### 【議員の回答】

基本は地中化方式でいくと思うが、地震や災害に強い資材・構造になっていると聞いている。南芦屋浜地域の停電は地中化が原因ではなく、他のエリアから南芦屋浜までの送電箇所が破損だと聞いている。

### 【参加者からの質問】

すべてはコストの問題。住宅地で車の交通量が少ない地域では、

比較的浅い場所にパイプを埋設する方式があり、費用が3割ほど安くなると思う。10年20年先の話ならば、市内のいづれどこで着工するのか、町や地域ごとにロードマップを作成すべきではないかと。

### 【議員の回答】

現在の推進計画は短期と中期にわかれており、中期は状況に応じて見直しを行う。地域単位というよりも、路線ごとの考え方になる。まちづくりとブランド作りを同時に行っていくのが、無電柱化だと考えている。



## 公共施設等総合管理計画について【総務常任委員会班】

※グループ方式による意見交換会

- 市民がどう使うか、どう使いたいかを踏まえた管理計画であるべき。ハード面だけの計画であり残念である。意見交換会で出た意見を持ち帰り、市民目線で公共施設の計画を立てるべき。
- 国は80年サイクルだが、芦屋は50年サイクルということで余計にコストがかかる。市民の気持ちを酌み取っていくということだと思うが、どこまでコストをかけるのか疑問が残る。
- 行政の最低限の役割は市民を守ることであり、50年先の計画を立てても意味がない。1年先、数年先の計画をしっかり立てて

- 積み重ねていくことを求める。
- 計画の立て方として、1人当たりの延床面積と言われても市民にどれだけ響くのか疑問である。利用頻度を指標で示せば、重要度が高いことが分かるが、そういう指標がないため冷たい感じを受ける。



## バス実地走行を実施

(JR芦屋駅南地区再開発事業)

12月18日に建設公営企業常任委員会で、JR芦屋駅南地区再開発事業で新たに設置されるロータリー（交通広場）の形状確認のためのバス実地走行が、阪急バスの協力のもと行われました。

この実験は、現在計画中のロータリーで「バスがスムーズに回れるのか」「形状

等に問題はないのか」などを検証するためのもので、川西運動場に実際のロータリーに合わせた線を引き、2台のバスを走らせました。本事業により、JR芦屋駅南地区が市民にとってよりよいものになるよう願っています。



バス実地走行の様子

JR芦屋駅南地区空間の模型

## 市内視察報告

### 高浜町ライフサポートステーションの視察を行いました

11月21日に、芦屋浜・南芦屋浜まちづくり調査特別委員会の委員を中心に、高浜町ライフサポートステーションの視察を行いました。本施設は、子ども・高齢者・障がいのある方が相互的・総合的に支援を受けられる社会福祉複合施設です。

初めに、事業者から概要説明を受け、そ

の後、建物内にある障がい・高齢介護・保育園などの分野別の事業所や、どなたでも利用できるカフェなどを見学しました。

これから始まる新しい事業が地域福祉の向上に貢献するとともに、地域の皆さまが気軽に集い、安らぎの時間を過ごすことのできる場所となることを期待します。



高浜町ライフサポートステーション内での様子

議会のナゼ？  
なに？  
再発見！

# 議会クイズ 第25回

## ？問題

昭和21年に「駅前広場」が都市計画決定され、72年を経て駅前再開発やバスロータリー設置などが検討されている再開発事業は、どの駅の周辺でしょうか。(出題者：寺前尊文委員)

- ① 阪急芦屋川駅
- ② JR芦屋駅
- ③ 阪神芦屋駅
- ④ 阪神打出駅

## 前回のクイズの答え

「平成29年度決算特別委員会が開かれ、3日間にわたり審査が行われました。決算収支の概要が示され承認されましたが、会計には一般会計・特別会計・財産区会計があります。この3つの会計の歳入総額はいくらかでしょうか。」の正解は、「①760億7,171万7千円」でした。  
※前回の応募総数は39件

正解者の中から抽選で3名の方に図書カード(500円分)を差し上げます。正解は、5月発行予定のあしや市議会だより108号で発表します。たくさんのご応募をお待ちしています。



議長、副議長による抽選会

### ■応募方法

「電子メール」または「はがき」にて、住所・氏名・年齢・電話番号・クイズの答え・議会や本誌に対するご意見やご感想を明記してご応募ください。  
※メールで応募する場合、件名は「第25回議会クイズ応募」としてください。

### ■応募締め切り

平成31年2月28日(木)まで ※当日消印有効

### ■応募先

〒659-8501 芦屋市精道町7番6号  
芦屋市役所 市議会事務局  
メールアドレス:gijityousa@city.ashiya.lg.jp

※個人情報は賞品の発送以外には使用いたしません。  
※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



QRコード(メールアドレス)

## 市議会ホームページで

### なにができる？



芦屋市議会

検索

### 本会議・委員会の中継映像を見る

本会議・委員会の中継映像を配信しています。また、会議終了後、おおむね1週間後から会議録が掲載されるまでの期間は録画配信もしています。スマートフォンやタブレット端末でも閲覧が可能です。

### 過去の会議録を調べる

本会議や常任委員会・特別委員会の会議録を調べたり、見たりできます。

### 会議の予定を調べる

本会議や委員会の開催予定、本会議での一般質問・総括質問の質問順や質問内容を掲載しています。

### 議案書・委員会資料などを見る

審議に使用する議案書、請願書、審議結果、議員一人一人の賛否などを公開しています。また、委員会で使用する資料や、委員会に送付した陳情書も公開しています。

### 請願や陳情の提出方法を調べる

議会に対して請願や陳情を提出するための方法などを掲載しています。

### 議員の連絡先を調べる

議員の連絡先を掲載していますので、直接話したい場合などにご活用ください。また、所属委員会・会派・政党なども掲載しています。

### 政務活動費や議会交際費をチェックする

政務活動費の報告書や領収書、議会交際費の用途と金額を掲載しています。

今後もさらに内容を充実させていきますので、ぜひご活用ください。



## 3月定例会 日程(予定)

芦屋市議会では、本会議・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会を傍聴することができます。傍聴を希望される方は、日程が変更になることがありますので、ホームページなどで確かめの上、ご来場ください。

月	火	水	木	金	土	日
2/18	19	20	21	22	23	24
議会運営委員会	本会議 (施政方針説明)	建設公営企業 常任委員会	民生文教 常任委員会	総務 常任委員会		
25	26	27	28	3/1	2	3
委員会予備日				議会運営 委員会		
4	5	6	7	8	9	10
本会議 (総括質問等)	本会議 (総括質問等) 予算特別委員会	建設公営企業 常任委員会・ 予算分科会	民生文教 常任委員会・ 予算分科会	総務 常任委員会・ 予算分科会		
11	12	13	14	15	16	17
委員会・ 予算分科会 (予備日)	委員会・ 予算分科会 (予備日)	委員会・ 予算分科会 (予備日)				
18	19	20	21	22	23	24
予算特別 委員会		議会運営 委員会		本会議 (表決等)		

## 編集後記

いつも市議会だよりをお読みいただきありがとうございます。寒さが続き春の到来が待ち遠しい中、今上天皇の御譲位を受け、近隣地域での奉祝だんじり巡行が予定されており祝賀ムードが盛り上がってまいりました。今号は平成最後の発行となります。また、次号(5月号)については新元号になって最初の発行になりますので皆さまご期待ください。

【編集委員】  
福井利道

○本会議・委員会の開始は、原則午前10時からです。